

# 第1章 佐渡市将来ビジョンの見直しに当たって

## 1 はじめに

佐渡市将来ビジョンは、平成31年度の交付税一本算定移行を見据えた佐渡市の将来のあるべき姿を明確にし、それに向けての財政計画、行政改革、成長力強化戦略を包括し、平成25年12月に市の最上位計画として位置付けした計画である。

その後、本市の歳入の約半分を占める普通交付税の算定において、合併後の市町村の姿の変化に対応した算定など激変緩和の見直しが行われており、財政状況において目標と実態に乖離が生じている。また、国において平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されたことを踏まえ、平成27年7月に「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するなど、本市を取り巻く環境に変化が生じており、来年度の施策の策定とあわせて、佐渡市将来ビジョンを見直し、新たな平成31年度の佐渡市のあるべき姿を示すこととする。

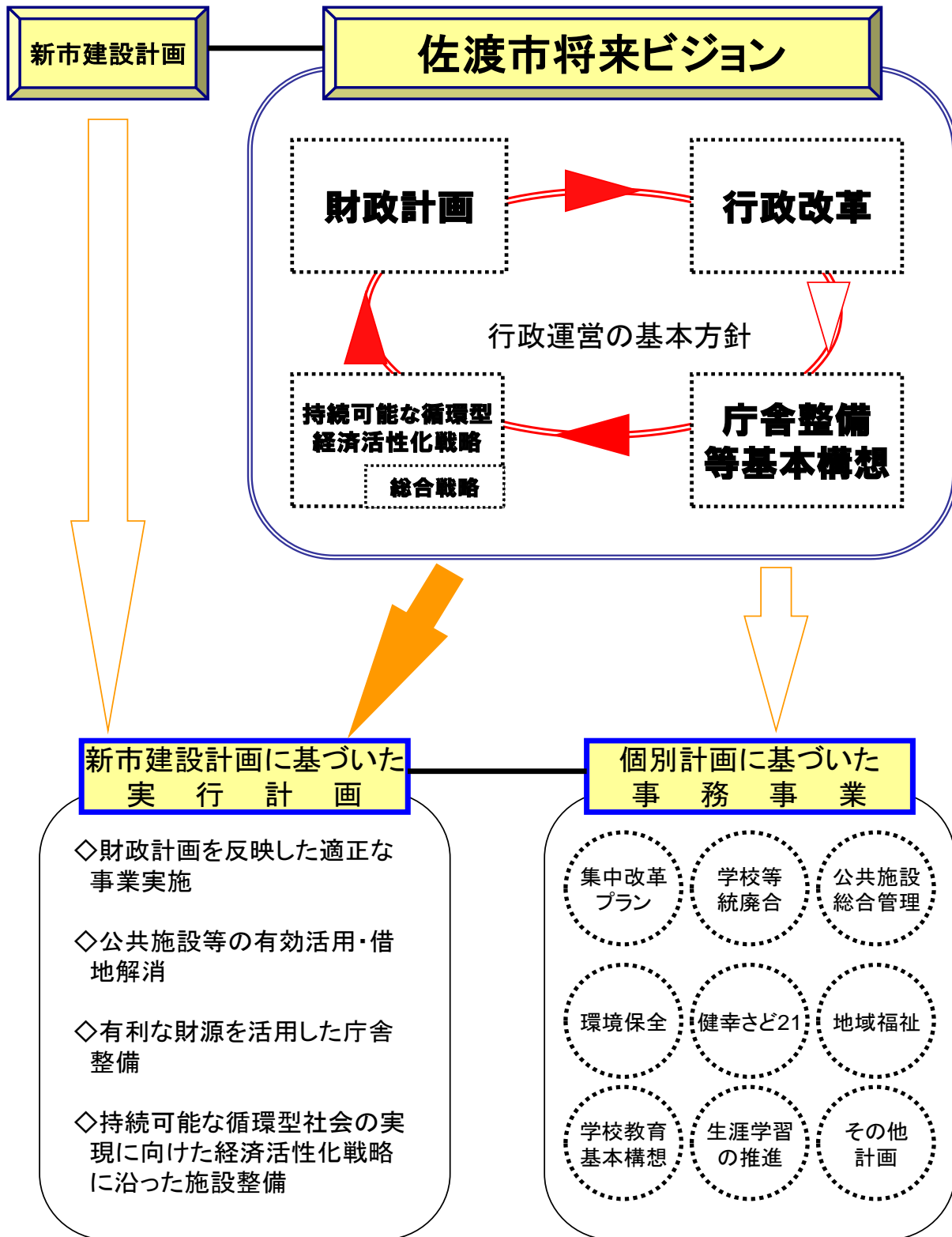
## 2 将来ビジョンの位置付け

将来ビジョンを市の最上位計画に位置付け、政策の重点化を図り地域の特性を活かした施策を展開する行政運営の基本指針とする。具体的な取組内容や将来ビジョンを補完する事項については、個別計画等で定めるものとする。

## 3 計画の期間

見直し後の将来ビジョンの計画期間は、平成29年度から平成31年度までとする。

#### 4 佐渡市将来ビジョンのイメージ

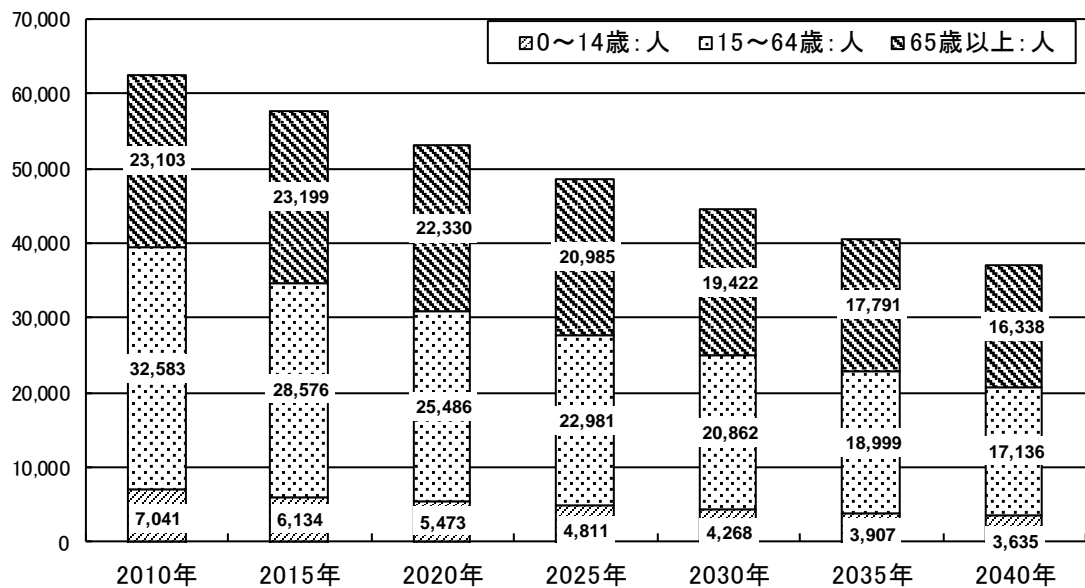


## 5 佐渡市の現状と課題

佐渡市は、平成16年3月の合併以降、人口が毎年約1千人ずつ減少している状況にある。このことにより、今後も地域購買力が低下するとともに、市内総生産が減少することが予想される。

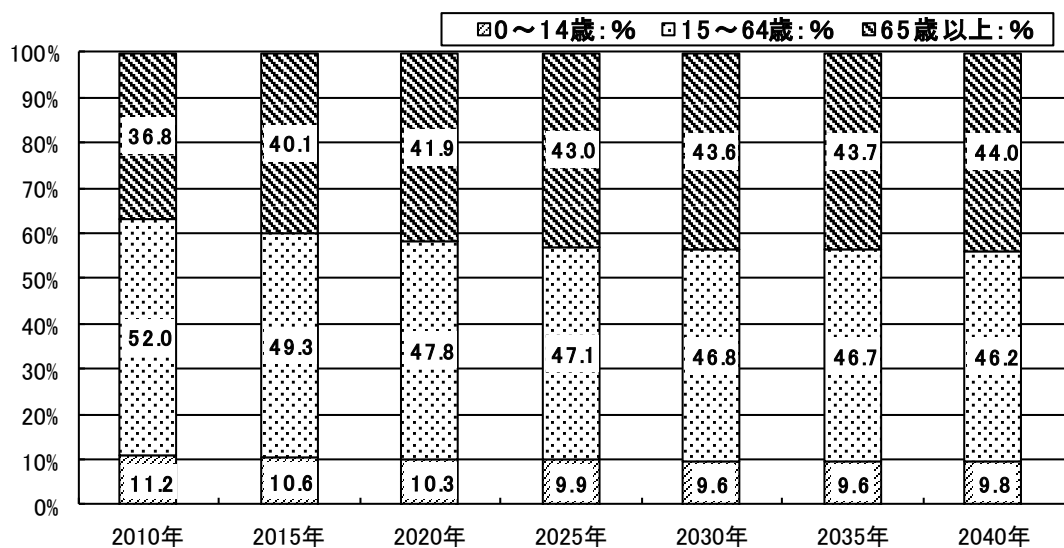
また、高齢者の割合が高くなる一方で出生数は減少しており、生産年齢人口は全国平均より約10ポイントも低く、50パーセントを下回っている。

### ●佐渡市将来人口推計



出典：国立社会保障・人口問題研究所推計（平成25年3月27日公表）

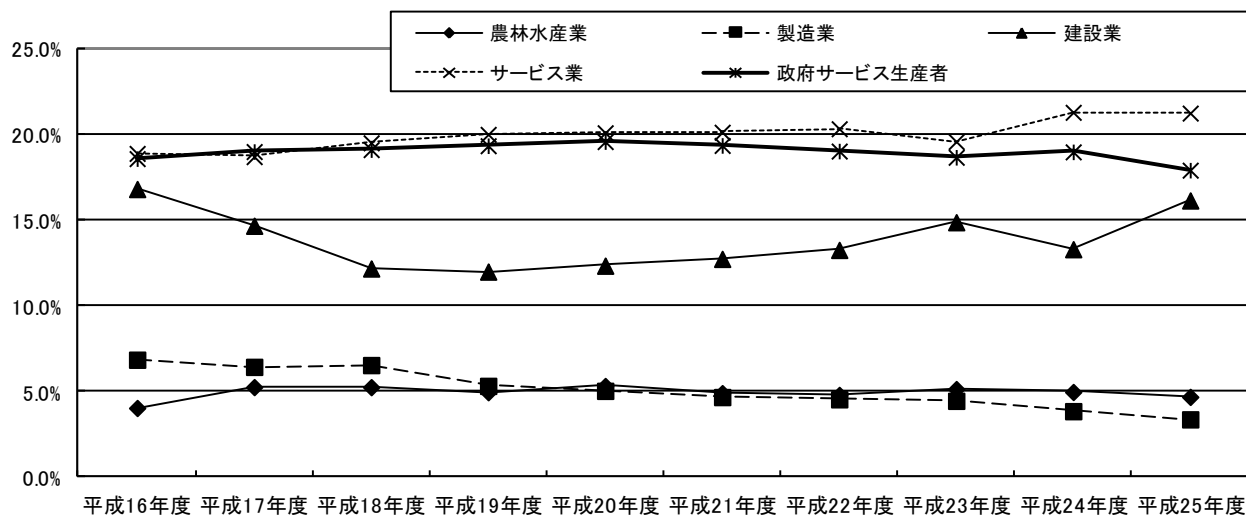
### ●佐渡市将来人口割合推計



出典：国立社会保障・人口問題研究所推計（平成25年3月27日公表）

本市の経済状況を見ると市内総生産は平成 22 年度を境に増加傾向にあり、特に建設業及びサービス業が占める割合が高くなっている。なお、建設業の割合が高い状況については、合併特例事業の増加に伴う、一時的なものと推計しており、合併特例期間終了の平成 31 年度以降は減少し、これと連動して総生産も減少傾向に転じるものと見込まれる。

●佐渡市内における産業別生産割合の推移



出典：新潟県市町村民経済計算 平成 25 年度版(平成 28 年 3 月 31 日公表)

※平成 24 年度以前の計数について遡及訂正しているため、前回の公表値と異なります。